

# 支援機器相談シート

相談日 令和4年 7月 1日  
 担任 岩田 京子

小学部3年生

<p>相談内容</p>	<p>① 食事の動作でできることを増やしたい。そのための食具や台など何か良い物はないか知りたい。</p> <p>② 家で一人で遊べるものがないか探している。座って楽しく遊べるもの、手の巧緻性を高めるものなど、何かあれば知りたい。</p> <p>担任より                  教育課程IVで学習</p> <p>① 学校では、傾斜台の上に皿を置いて食べ物をすくいやすいようにしている。スプーンは、おゆまるで持ち手をつけたスプーンを使っている。皿は介護用品で、へりが高くなっているものを使用している。                  本児が食べ物をすくいやすいように、指導者が皿の傾きをその都度変えると自分ですくうことができる。</p> <p>② 学校や家では、片付けてあるものを引っ張り出してひっくり返したり、それを箱やかごの中に入れて遊んでいる。右手にまひがあるため、左手だけで遊んでいる。                  マビーを使ってプラレールを動かして遊んでみたが、思ったより興味を示さず、むしろ友達がやっているところを見ている方が楽しそうだった。一人でマビーの操作をするのは難しい。iPadのゲームよりもアナログな遊びの方がどちらかというところが好きそう。</p>
<p>相談結果</p>	<p>① ・シリコン素材の皿を固定するもの（製品名：茶碗まくら）がある。ななめにしたり、向きを変えられたりできる。滑り止めシートと台と皿を使うとよい。茶碗まくらと茶碗の間に滑り止めシートを挟むとよい。また台の高さを出す他茶碗まくらによって高さを調整したり角度を調整したりできるなど、環境を整えて食べやすさを出せるとよい。</p> <p>・すくう所と口を物理的に縮める。お皿の角度は口とすくうところの延長線上にあるとよい。高さを変えることで手首の角度も変わる。</p> <p>・コップで飲むときコップが顔におおわれてしまうときは、カットされたコップだと鼻にあたらず飲みやすい。また喉が上がると誤嚥するので前のめりのならないよう、飲むときの姿勢に気を付ける。</p> <p>・コップにストローをさして飲むと、空気が入りにくく誤嚥しにくい。姿勢がくずれた時にもよく、ストローとコップの併用が望ましい。</p> <div style="text-align: right;">  <p>茶碗まくら M</p> </div>



レボU コップ

ダイセムの滑り止めシートは、最強！

しかし紙は最強すぎて取りにくい。

- ②
- ・家庭では、カードを入れるということがマイブームになっている。楽しみや入れるということが何か手伝いに繋がればよい。
  - ・右手にまひがあるため左利きだが、両手でできる経験があるとよい。右手に物を握らせ左手で取るなど、右手を意識するためには自然の活動の中でボディイメージさせることが大切。
  - ・折り紙を破ってティッシュボックスに貼っていくという活動では、右手に支えとして箱が当たることで手の意識づけになる。また、箱を引き出して中から折り紙を取り出す活動は、中から出す、探しに行くがたくさん活動がある。この作業は成功も失敗もないのでやりやすい。